看護研究　第44巻　第2号(通巻230号)　2011年4月15日発行　1998年10月30日　第3種郵便物認可　[ISSN 0022-8370 KANGO-KENKYU]

看護研究バックナンバー(内容紹介)

Vol.44 No.1 JAN・FEB

焦点｜現象学的研究における「方法」を問う

■現象学的看護研究とその方法　榊原哲也
■開かれた現象学的研究方法　松葉祥一
■理解について　家高　洋
■患者を1人の人として理解する　石田絵美子
■看護ケアの実践知　西村ユミ
■「痛み」の理解はいかに実践されるか　西村ユミ，前田泰樹
■潜在的な視線触発と純粋な超越論的テレパシー　村上靖彦

●特別記事
ソーシャルメディアがつなぐ／変える研究と健康　中山和弘

●連載
看護研究の基礎―意義ある研究のためのヒント・1(新連載)
看護研究とそうでないもの　坂下玲子

Vol.43 No.7 NOV・DEC

焦点｜新たな創造に向けた看護研究　先端的試みをどう活かすか

■先端研究を看護実践に活用する　川口孝泰
■先端研究を応用したバイタルサイン測定法の開発
　看護情報学の確立に向けた取り組み　川口孝泰・白鳥和人
■知覚を客観的に評価する　看護実践のエビデンスを確立するために　佐伯由香
■臨床応用に向けた遠隔看護(テレナーシング)の実際と意義　東　ますみ
■ICT(information and communications technology)を活用した健康支援プログラムの開発
　人工股関節全置換術を受ける患者の環境移行に着目して　佐藤政枝

●特別記事
タイムスタディ研究の進展　タイムスタディによる看護業務の観測と構造化
清水佐知子・大野ゆう子・岩佐真也・冨澤理恵・尾島裕子・林　剣煌・坂田奈津美・大西喜一郎

Vol.43 No.6 SEP・OCT

焦点｜看護学における Translational Research
振動による褥瘡の治癒促進をめざした機器開発・検証のプロセス

■看護学 Translational Research の構想とプロセス
真田弘美・長瀬　敬・須釜淳子

【ニーズの把握】
■寝たきり高齢者の下肢褥瘡発生要因　大桑麻由美・須釜淳子・真田弘美・大江真琴

【シーズを見いだす・病態メカニズムの解明】
■振動による微小循環変化のメカニズム　市岡　滋・横川秀樹・関谷直美・仲上豪二朗・真田弘美

【仮説の検証】
■振動による血流促進効果の検討　仲上豪二朗・浦崎雅也・北川敦子・真田弘美

【証明―振動による効果の検証：臨床試験パート1】
■振動による Stage Ⅰ褥瘡の治癒促進効果　須釜淳子・嵐　碧

【証明―振動による効果の検証：臨床試験パート2】
■壊死組織を有する褥瘡に対する振動の効果　宮永葵子・須釜淳子

【人材育成：臨床-教育プログラム開発・検証】
■重度褥瘡ケアにおける高度創傷管理技術教育のプログラム開発とその評価
貝谷敏子・真田弘美・須釜淳子・宮地良樹・館　正弘・長瀬　敬・松山　裕

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2011

定価1,890円(本体1,800円+税5%)　雑誌 02411-04
消費税率変更の場合，上記定価は税率の差額分変更になります．
4910024110417
01800

2026/10/09 22:13:27